

学校訪問シリーズ 36

由布市立挾間中学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「自己実現をめざし、地域と豊かな未来社会に貢献する生徒の育成」を達成するため、学校教育スローガンを「自立・貢献・対話と協働」とし、育成を目指す資質・能力を「問題解決能力」と定め、チーム学校会議（学力向上班、心の教育班、キャリア教育班）を中心に、学年部、教科部会、研究部3部会と連動しながら組織的に実践しています。

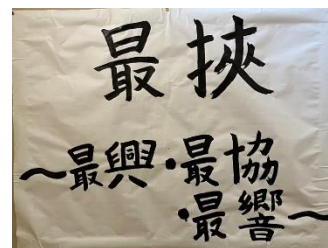
特に注目した点は、集団づくりについては、Q-U 担当者が全体研修を提案し学年会で具体的な対策会議を行ったり、生徒による授業評価は、担当者が「わかる・できる」による各教科のバブルチャートを作成し教科部会で授業改善を図ったりするなど、ボトムアップによる取り組みが行われていることです。このことにより、担当者の当事者意識が高まり、新たな提案や改善策が組織的に行われていると感じました。



授業から学ぶ

全15学級の授業を参観しました。全ての指導案には、ペアやグループの効果的な設定があり、「ふりかえり」は生徒が具体的に書くような表現をしているので、本時のねらいや評価規準との整合性が図られていました。そのようなことから、全ての授業において、生徒が学び合っていたり積極的に課題に向き合う姿をみることができました。そして、教師と生徒、生徒間の関係がとても温かいと感じました。

今後は、「授業で徹底していききたいこと」は、短期で集中的に行うことで、達成できた項目は削除したり、より質の高いものへと改善することで、授業の本質に迫るような、内容の濃い授業を生徒と共につくることを期待します。



NO.248 2022年10月 由布市立挾間中学校

優しさアンテナ

友達の困りに気がいたら、そっと助けることができる。



NO.246 2022年10月 由布市立挾間中学校

情報伝達力

集めた情報を加工、分析し、自分の考えを持つ。それを、わかりやすく説明する。



NO.247 2022年10月 由布市立挾間中学校

対話と協働

実験の目的を確認したら、それぞれの役割が明確になる。そして、助け合う。



NO.244 2022年10月 由布市立挾間中学校

素早く対話

短い時間でも、多くの友達の考えを知るのは楽しい。そして、安心する。



NO.249 2022年10月 由布市立挾間中学校

視線が揃う

話し合いが白熱すると、次第に視線がそろってくる。それぞれの良さを認め合うから。



NO.246 2022年10月 由布市立挾間中学校

安心な環境

一人で考えて解決できないことも、友達と一緒にならできるように思える。



NO.245 2022年10月 由布市立挾間中学校

価値を共有

それぞれ気がついたことを出し合うと、その価値の深さを感じる。